



那覇市民生委員 児童委員広報誌

令和2年12月発行

特別号

発行/那覇市民生委員児童委員広報部 那覇市金城 3-5-4 総合福祉センター ☎098-858-5166 FAX.098-858-5169

ふれあい福祉相談室 那覇市総合福祉センター

日常生活の中の心配ごと、悩みごとについて助言・援助を行っています。
一人で悩まずにご相談ください。秘密は守ります。

- 一般相談 / 平日 10:00~16:00
- 司法書士相談 / 毎月第2金曜日 14:00~16:00 予約制
- 弁護士相談 / 奇数月第4金曜日 14:00~16:00 予約制

那覇市社会福祉協議会 地域福祉課 **098-857-7766**
ふれあい福祉相談室直通電話 **098-857-7780**

児童虐待と思ったら すぐにお電話を!

全国共通189番へ

児童虐待は家庭の中で行われることがほとんどです。気づくことが遅れて悲しい報道に接することは再三再四です。子どもを守り育てるのは大人の責任であり、社会の責任でもあります。虐待をしている親も悩んでいる場合が多々あります。親子を助ける場合もあるのです。気になることがあったら、まずは電話相談をしましょう。

那覇市子育て応援課 子育て支援室 **098-862-0593** (平日/ 8:30~17:15)
※上記時間以外は、沖縄県中央児童相談所 098-886-2900 または**189**(いちはやく)

あなたの優しさを形にしませんか?

民生委員は厚生労働大臣任命のボランティアで、民生委員制度が出来て100年を過ぎました。全国津々浦々で活動していて、民生委員のいない地域はありません。那覇市の場合一人当たり概ね350世帯を担当しています。私たちの活動は、困りごとや悩みごとの相談を受けることから始まります。

子どもから高齢者に至るまでにあらゆる生活上の相談を受けて支援活動を行い、相談の内容によって行政や福祉機関につないだり、一緒になって問題解決にあたったりしています。ところが、支援が必要な方が声を上げられない、声が届かないという現実があります。支援を必要としている人がどうしているのかわからない、どこに行けばいいのかわ

からないという現実です。どのようにして個々の悩みを拾い上げ受け止めていくことが出来るかが私たちの大きな課題と言えます。一人で悩まずに、まずは民生委員に相談してみたいかがでしょうか。

さて、民生委員は日本全国を網羅しています。ところが、民生委員のなり手がいないという大きな問題があります。特に那覇市の場合深刻です。欠員地区が多くなると、きめ細かな支援活動ができません。民生委員を募集しています。

一緒に活動を行って頂ける方を待っています。

那覇市民生委員児童委員連合会
会長 眞榮城 嘉政



この広報誌は那覇市地域福祉基金を活用しています

無料・低額診療事業ってご存知ですか?

お金がなくて健康保険証を持っていない。健康保険証はあるけど、病気や失業中などの理由で診察代が払えないといったとき、あなたはどうしますか。病院へ行くのを止めますか、我慢しますか。困りますよね。でも、諦めないで下さい。**経済的理由で必要な医療を受ける事ができないという時に、社会福祉法にもとづいて一定の期間お金が無くても受診できる制度があります。**それが【無料・低額診療事業】です。

私が相談を受けていた女性は、離婚して実家に戻っていました。身重で仕事はできません。実家も生活が苦しくて余裕がありません。出産費用等をどうしようかと話し合ってい

た時に、この制度がある事を知りました。早速、病院へ行って相談しました。その結果、無料で受診することが出来ました。その後、無事に出産する事ができ、大変感謝しています。このように困っている人を支援する制度がある事を多くの方に知って頂きたいと思いました。彼女はこの制度で助けられました。いつの日か、恩返しをしたいと話していました。

那覇市では無料・低額診療事業の適用を受けての方の薬代を全部又は一部負担する制度があります。薬代の心配もしなくていいのです。

[無料・低額診療事業について]
沖縄医療生活協同組合
098-856-3107



お気軽に
ご相談ください

新一年生家庭訪問活動

地域住民の状況をより把握するために、「新入生の全戸家庭訪問」を始めました。その際には、ささやかな入学祝のノートと鉛筆も喜んでもらえ、児童や保護者と顔見知りになることができました。民生委員の仕事内容も紹介することができ、地域への足がかりができました。今年は4年目に入り



ますが、この活動を6年間続けると、一通り担当地域の児童については全員知ることができます。

また、月に1回、学校側と「児童見守り会議」を開き、学校の状況や地域の実情についての情報交換会をもっています。そのことで、よりきめ細かい見守りの実現ができるようになりました。このような活動を基盤に、学校側との信頼関係も生まれ、児童の見守りも依頼されるようになりましたが、その際の担当民生委員による家庭訪問もスムーズにできるようになりました。

不登校支援活動

「新学期が始まり新しいクラスで先生やお友達とうまくなじめないことから不登校になった生徒がいます。」小学校の先生から相談を受け「不登校児童」の登校支援についてケース会議を開き具体的にどのような支援ができるのかを話し合いました。

学校、カウンセラー
連携の取れた
支援をおこないます



メンバーは学校の先生、カウンセラーの先生に私たち地域担当民生委員や児童部会の面々です。話し合いの結果、まずは先生方で当該児童のご家族と話し合い、登校支援をすることになりました。それから担当民生委員も家庭訪問し顔合わせと同時に生活状況の把握をしました。このような過程を経て改めてご家族からの依頼を受け、早速支援を始めることになりました。

当該児童は登校時間になると玄関で待っていてスムーズに登校することができ、学校では先生が迎えてくれました。その後、ご父兄より「自分で登校するので大丈夫ですよ」との電話をもらい本当に良かったと安堵しました。

高齢者独居の見守り支援活動

60代独身男性が近所に越されて自治会員の一人として地域に関わっていましたが、病気を患い経済的に困窮し生活保護を受けることになりました。その際、地域担当民生委員児童委員が行政とのパイプ役として自治会や関係機関との手続きに協力しました。

病気をされてからの日常生活に関しては、自治会の方や近所の方と協働して弁当など食事に関する支援を行い、日頃から声かけで安否確認をし、部屋の片づけを地域の方が積極的に手伝ってくれていました。しかし次第に体調も思わしくなく階段を上がるのも辛そうにしていました。

ある日、路地で倒れているのが発見され救急車のお世話になり、その際は自治会の班長が付き添いましたが、家族との関係性が悪く疎

遠なため止む無く施設への入所となりました。

5年間住んでいたアパートの後片付けは一仕事でしたが、独居の方を気持ち良く安心した生活へ導くことができたのは、自治会と民生委員、そして地域見守り隊の協力と正しい情報共有の基に成しえた支援だと思います。



地域でおこなう
見守り支援

あなたを応援します！

那覇市ひとり親家庭等日常生活支援事業

一時的に家事・育児が困難になった時、支援員を派遣します。



<生活援助・子育て支援の内容>



- 母子家庭の母・父子家庭の父、幼児・児童の一時的なケガや病気
- 母子家庭・父子家庭の本人が自立促進に必要な技能習得、就職活動など
- 冠婚葬祭、父母の残業・出張、子の学校等の公的行事への参加など

(公) 那覇市母子寡婦福祉会 098-858-7212

那覇市認知症カフェ

認知症カフェは、認知症の人とその家族が気軽に立ち寄れるカフェのことで、認知症への理解を促し、認知症の方やその家族、また地域の方の居場所づくりの場、また支援者や専門職種が連携する場として市内で26カ所開催しています。

認知症カフェでは、くつろいだり、認知症の講話を聴いたり、認知症予防の脳トレや運動など、地域包括支援センターが地域のボランティアと一緒に施設や店舗と連携しながら、オリジナルなプログラムを展開しています。



那覇市チャージンじゅう課 098-862-9010

ふれあい・いきいきサロン

地域住民が主体となり自主的に運営し、地域の方々がふれあいを通じて、ご近所付き合いの輪を広げ、生きがいづくりや社会参加を推進する「居場所づくり」を目的としています。現在那覇市内で65ヶ所実施され、誰もが自由に参加できる場所となっています。興味がある方はぜひご連絡下さい。

<活動事例>

- ・市職員による防犯防災対策講座
- ・ウクレレでなつめろ合唱
- ・折り紙で(こいのぼり作り)
- ・日帰りバスツアー
- ・囲碁
- ・夏休み、孫と一緒におもちゃ作り
- ・公民館で夜カラオケ
- ・ゆんたく会(昼食会)



那覇市社会福祉協議会 地域福祉課 098-857-7766